



第42号

国立市東1-1-19-302

山口康雄 574-5581

印刷: ジャノメサービス



山口支部長

大勢の役員に支えられてどうにか一年が過ぎました。感謝します。

総会で承認された支部活動計画は、雨のために中止された高尾山ハイキングとゴルフ以外の行事は、全て開催され、多くの会員に参加していただきました。有難うございます。

多摩には十一の白門会があります。が、本年は小平、調布と小金井の周年記念総会や近隣支部の総会に出席し、いろいろと支部運営についてヒントを得ることができました。

その他、支部長会、学員総会、評議員会など、久しぶりに駿河台へ行きました。週末はほとんどこれらの行事でふさがったので、前支部長の堀田さんやさざ忙しかっただろうと思います。

これからの行事については、ご案内が届くと思いますが、是非お出かけください。

本年の学術講演会は会場の都合で、十一月十六日午後三時から谷保天満宮で開催されます。司馬遼太郎の本を読んでから出席されると興味深く参加できると考えています。

中大百二十五周年記念募金ですが、毎月、推進本部から募金状況について報告と依頼がきますが、たいへん厳しい状況にあります。金額の多少にかかわらず、支部の全員に参加していただければ幸いです。よろしくお願いします。

私は昭和三十五年卒業ですが、当時、アルバイトで蒲田の会計事務所に勤めていたので、大学の授業にはほとんど出席していません。それなのに支部長に推薦され面映い気持ちですが、なにか中学、高校、大学と母校愛は人一倍もっています。今年は、野球一部昇格があり、小金井に付属中学も開校され、話題が豊富です。また参加したことのない会員の皆さん一度出てきてください。お待ちしております。

## 「世相 雑感」

副会長 風間 健

八月八日午後八時から北京オリンピックの開会式が開催されました。漢民族の五千年にわたる悠久の歴史絵巻を四時間にわたってくりひろげる豪華絢爛さに圧倒されました。

翻って日本国内では政治の面では衆議院・参議院のねじれ現象によって政治混乱が続く政治不信をまねき、内閣改造によって支持率アップをはからなければならぬほどの政治情勢です。

社会面では秋葉原での無差別大量殺人事件、平塚駅での女性の無差別大量傷害事件など凶悪犯罪が続発しています。

犯罪の低年齢化による宇都市の中学二年生、十四歳の男子生徒の東名バスジャック事件。親に厳しく叱られてその腹いせに親を困らせるためにバスジャックを思いついたという。

また、川口市の中学三年生、十五歳の女子生徒の父親刺殺事件。就寝中の父親を一気に刺殺。人の顔色をみながら、友達に嫌われないように生きていくのに疲れた。下がった期末テストの成績を親に知られる前に家族を皆殺しにして自殺しようと思ったという。このような恐ろしい発想にどうしてつ

ながるのでしょうか。

この点にしばって考えてみたいと思います。

私はどうも、家庭生活の中に原因があるのではないかと思います。近年は子供の数が少ないという事情もありますが、勉強、勉強で塾に通わせ、個室を与え家庭の手伝いもさせずに放任状態が実態になつています。昔のように風呂の水汲みとか、わら草履作りの手伝いはありませんが、トイレや風呂場の掃除、毎朝の新聞とり、玄関の掃除や履物の整理、夕飯のあとの食器洗い、庭の草取り、花壇の手入れなど毎日の家庭生活の役割分担をそれぞれが受け持つて話し合う。そしてお互いを褒める。

単にこの程度でも家庭内のコミュニケーションが保たれ親子関係や兄弟関係がうまくいくはずで、決して家族を皆殺しにしようなどという発想にはなりません。

むしろ正しい教育理論よりも初心にもどった家庭内の基本的なしつけの実践で低年齢犯罪を食い止めることが出来るのではないのでしょうか。

最近、贅沢をしなげらも、子供の給食費も払わない親がいるようですが、こんな親に「基本的なしつけ」と言っても、しよせん無理なのかもしれないが。

## 募金状況

(六月末日現在)

目標金額	百億円
申込金額	四十九億九千八百万円
多摩地区募金申込状況	
日野支部	一千四百九十九万円
国立支部	七百四十六万円
八王子支部	五百六十九万円
立川支部	四百三十三万円
調布支部	三百九十一万円
小金井支部	三百三十三万円
三鷹支部	三百二十八万円
小平支部	三百一十七万円
府中支部	二百七十九万円
多摩支部	一百四十三万円
町田支部	一百五十六万円
※募金に関するお問い合わせ	
石井幹事長	572-0185

## 母校ホームカミング

デーに行ってみよう

開催日 十月二十六日(日)  
場所 中央大学多摩キャンパス  
時間 十時十五分 開会式

### 内容

トークショー 葛西聖司氏(NHK)  
ゲスト 金利恵さん(韓国伝統舞踏家 五十二年卒)  
寄席 柳家小団治師匠  
対談 蓮池 薫さん・長内了教授  
「母校への思いを語る」  
アトラクション 武蔵国府太鼓 他

当日 九時三十分 モノレール「立川南」駅改札前集合



## 真夏の夜の副々対談

昼間の暑さが暗くなってもおさまらない今年の夏・・・とある夜 国立では老舗のスナック「苑」で、副会長高橋雅幸、副幹事長平本聖子が対談しました。スナック「苑」は二十年前から国立白門会の新年会等の二次会によく行っていた思い出深いお店です。

平本「こんばんは」

高橋「こんばんは」

平本「今夜は、私達が国立白門会に参加して約二十年の思い出と今後の白門会について話し合いたいと思います。」

高橋「了解」

平本「高橋さんが結婚された時、白門会の取材で、新婚宅へインタビューに行きましたよね。」

高橋「あー来ましたね。もうけっこう昔になります。」

平本「以来、白門会きつての愛妻家と聞いています。」

高橋「そうです。」

平本「「こちそうさま。」

平本「今まで国立白門会について何か感想は。」

高橋「僕は、副会長の前に会計をやっていたけれど、歴代の会長、幹事長の下でいろいろ勉強させてもらいました。」

平本「私は中央大学に心から感謝して

いるのでいつも地元で中央大学の香りの中にいたいと思っています。やさしい諸先輩方のおかげで、『白門会』を楽しんでいます。」

高橋「先輩、後輩の会った瞬間の親しさと、程良い緊張感がいいよね。」

平本「今後は私も、やさしい先輩にならなければ・・・」

国立白門会は、今年三十周年を迎えるわけですが、四十周年、五十周年に向けて思うことはありますか。」

高橋「僕らより、もう少し若い人達に参加してほしいね。」

平本「そうですね。朗報として、今、会計担当の真見君が

『五十周年の時は僕にお任せください。』と言ってくれましたよ。」

高橋「それは頼もしいな。平本・真見君 よろしく頼むよ」

高橋副会長の愛妻美紀さんも駆けつけてきてくれて、また盛り上がった真夏の夜でした。

(注 この取材費に公費は流用していません)

## くにたち市民祭にご支援を

十一月三日に開催される市民祭に例年通り参加します。バザー販売品のご提供をお願いします。

連絡先 石井 090-40051223

## 秋の一泊旅行は秩父路へ

恒例の一泊旅行はどこへ行くか、毎年思案するところでありま

す。そんなとき、テレビの旅番組で秩父の一軒の民宿が紹介された。えっ！これが民宿 と思うような、数寄屋風の大きな建物、そして、その女将が美人。そんな番組を見た数日後、役員会で石井幹事長が秩父に美人の女将のいる民宿があるという話をした。民宿か・・・と落胆の声、そこで私がテレビの話をしたところ、その美人に会いに行こうじゃないかということになった。十月十四日(日)朝、一橋大学前に集合、チャーターしたマイクロバスで一路秩父路へ。長瀬で水しぶきを浴びての豪快な川下りを期待するも、水が少なく、川面が鏡のよう。しかし切り立つ河岸の緑が映える川面を静かに周遊するのにも興、薄暗くなるころ、お目当ての民宿(すぎな)に到着、どうしてこれが民宿なのか。広い玄関、曲がりくねった廊下、建物に囲まれた広い庭、遠くに奥多摩の山々。高級料亭風である。女将は期待通りの美人で感じもよい。聞けば財界、政界の要人が近くのヘリポートに降り立ち、来訪すること。不思議なところだ。途中、三十四観音札

所一番寺で二宮さんの先導で読経。不純な気持ちで旅行先を選んだことを反省 (堀田 記)



長瀬ライン下り



民宿「すぎな」後列左から2人目が女将

## 平成二十年度 第三十一回 定時総会

六月十五日(日)午後三時からレストラン「雅月」において定時総会が開催された。大学からは玉造常任理事・栗山副部長、学員会からは佐藤副会長、近隣支部からは柏木立川支部長・鎌田日野支部長・山崎三鷹支部長・斉藤小金井支部長・川上小平支部長の臨席をえて議事も円滑に進行し、すべての議案が承認された。また、前学員会副会長・わが支部顧問の市橋千鶴子先生も大変お元気で、会員と親しく懇談された。

## 囲碁会 (二宮 記)

囲碁会を再開して、二回目を二月二十四日、社会福祉会館にて開催しました。中大OGの竹田佳代子さんを先生に十人ほどが集まり対局した。対局のあとの懇親会でも、大いに盛り上がりました。



中央が竹田佳代子先生



## 隅田川

田口正明

昭和二十八年法字部卒

謡曲「隅田川」は、母親が誘拐されたわが子をさがし求める悲劇物語である。隅田川のほとり今の東武浅草駅ちかくの隅田河畔が、悲劇物語の舞台となった。

わたくしが子供のころは、浅草駅はたしか雷門駅とよばれていた。上り電車には、雷門行きと表示されていた。浅草や隅田川は、東京を代表する観光スポットである。屋形船や水上バスは雷門ちかくの船着場からでている。屋形船はレインボーブリッジを眺められるお台場までのあいだを行き来している。江戸前の刺身や天麩羅、それに焼き鳥や寿司などがいただけ。川面の潮風に吹かれながらの江戸前の味は、また格別である。

いっぽう水上バスは、浅草、浜離宮日の出棧橋のあいだを運行している。船から見る隅田河畔にそびえ建つ超高層ビルの夜景は、千金の価値がある。いかえれば、春宵一刻値千金である。平安貴族は、歌や書道それに琴が教養とされた。このため恋をする、相手の女性に歌を短冊にしたためてプレゼントした。流麗な文字に心をこめた歌を詠み、女心をゆさぶった。

歌の名手在原業平は、見目秀麗で、前述のようにプレイボーイであった。若いころの業平は、恋にあけくれた。その結果、恋のとがにより、都にいたたまれなくなった。恋にやぶれた傷

心をいやそうと、東下り（あずまくだり）という難儀な道にでた。足をひきずるような思いで、隅田川へたどりついた。

隅田川では、クチバシと脚の赤い鳥が目にはいった。都では見られない鳥である。聞けば、都鳥と教えてくれた。そこで、あの名歌を詠んだ。名にしおはばいざ言問わん 都鳥 わが思ふ人は ありやなしやと 人商人（ひとあきびと）。子供を誘拐して売り払う商人（ひと）にさらわれた母親も、伊勢物語のこの名歌を下敷きにして、替え歌を詠んだ。われもまたいざ言問わん 都鳥 わが思ひ子は ありやなしやと 一年前 人商人に誘拐された子供は、隅田川のほとりで、病にたおれた。地元の人の手厚い看護のかいもなく、息をひきとった。それとも知らず母親は、足を引きずるようなおもいで、隅田川にたどりついた。聞けば一年前この地で病にたおれ亡くなった子供のため、念仏をとこなしているのだという。もしや、それはわが子ではないか。わが子は、この塚のなかに埋められているのか。せめてなにかの間違いであってほしい。

南無阿弥陀仏の声にまじって、わが子梅若丸の声が聞こえてきた。あの声は、わが子の声か。しかし、その声は親子再会の声ではなかった。なつかしい母親にだかれることもなく、つめたい塚のなかに、まぼろしのごとく消えうせた。

隅田川は名曲なるがゆえに、言問橋、言問い通り、言問だんご、業平橋駅など、当時をしのぶ名称を耳にする。むかしがしのばれる。東武業平橋駅には、新東京タワーが建設される。完成すると、高さ六百メートルの世界一のタワーとなる。今でさえ隅田川の両岸には高層建築物が林立し、パリーのセーヌ川みたいになってしまった。ここが隅田川の草深い悲しい伝説の場所といわれても、なかなか信じられない。

隅田川は名曲なるがゆえに、日本舞踊、歌舞伎それから高校の古文の教科書にもとりあげられている。（おわり）

## 追記

田口さまご夫人、田口照美さまは一昨年、神楽坂矢来能楽堂において、能「羽衣」の和合の舞を舞われました

## 久々のトロリーリング

丸本 大

孫の高校受験合格のお祝いに、約束のグアム旅行に行った。四月一日夜九時すぎに四国巡礼から帰宅して、翌一日の夜成田空港からグアムへ飛ぶという強行軍。ホテル・シエラトン・ラグーナ・グアムに深夜にチェックインして仮眠。三日前、グアムの北西部にあるココパームビーチというプライベートリゾートで一日休養した。息子と孫は終日海に入って



楽しんでいたが、私はベンチで昼寝をしていた。翌四日早朝迎いの車でマリナへ。一五〇六人は乗れるクルーザーが待機していて、船長と助手に案内されて乗船。恋人岬の沖を約二時間トロリーリングした。幸い天気も上々で、若干風はあったが、大した船のゆれはなく、魚のかかるのを待つ間、缶ビールを飲んで船から島の岩場の景色をながめていたら、リールが鳴って、息子のリールにシラ（1.3Mぐらい）がかかり、つづいて、孫がカツオを揚げた。私のリールには、サワラ（1.2M）がかかり、かなり手ごたえがあった。その後またシラが揚ったが、船長の話では、最近ボーズの日もあり、今回4匹は大漁だとのこと。帰りには三種の魚の旗をかかげ、船上でサワラをさばき、脂のつたサシミはうまかった。孫との約束が実行出来て楽しい旅行であった。

## 「海の日」は恒例の納涼会

七月二十一日（海の日）昭和記念公園バーベキューガーデンで開催。会員・家族・友人・二十三人が集会、手馴れた手順で準備OK。持参のワイン、日本酒、焼酎が飲みきれないほど。最後に食べたスイカが冷たくて美味い。暑い街中を歩いて帰宅。

石井 記



## 中央大学学術講演会

国立白門会創立三十周年記念

演題 司馬遼太郎と昭和の日本

講師 中央大学法学部教授

長尾 一紘

日時 平成二十年十一月十六日（日）

午後二時～四時三十分

会場 谷保天満宮 社務所一階

主催 中央大学（学員会・国立支部）

後援 国立市教育委員会

連絡先 石井 090-4005-1223



# 平成19年度 国立白門会決算書

自 平成19年4月1日

至 平成20年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	決 算	予 算	科 目	決 算	予 算
年 会 費	186,000	210,000	印 刷 費	52,500	100,000
総 会 会 費	150,000	150,000	総 会 会 費	136,850	150,000
寄 付、祝 金	20,000	0	交 際 費	126,500	150,000
特 別 収 入	256,708	80,000	親 睦 行 事費	21,366	150,000
125募金活動助成金	20,000	10,000	通 信 費	64,095	70,000
125寄付金受入	0	0	会 議 費	17,450	30,000
雑 収 入	634	0	事 務 用 品費	23,826	30,000
前年度繰越金	581,032	581,032	雑 費	40,934	10,000
			125周年寄付金	100,000	100,000
			125周年特別寄付	100,000	100,000
			周年事業積立金	100,000	100,000
			予 備 費	0	41,032
			次年度繰越金	430,853	
合 計	1,214,374	1,031,032	合 計	1,214,374	1,031,032

平成20年6月10日

会 計 真 見 敬 印  
 会計監事 山 川 昌 一 印

# 平成20年度 国立白門会予算案

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	摘 要	金 額	科 目	摘 要	金 額
年 会 費	3000円×80名	240,000	印 刷 費	白門会ニュース	100,000
総 会 会 費	5000円×30名	150,000	総 会 会 費		150,000
特 別 収 入	さくら祭、市民祭	80,000	交 際 費	近隣支部総会祝金	150,000
125募金活動助成金		10,000	親 睦 行 事費	納涼会、新年会他	150,000
前年度繰越金		430,853	通 信 費	会員連絡他	70,000
			会 議 費	役員会他	30,000
			事 務 用 品費		30,000
			雑 費		10,000
			周年事業積立金支出	H20年創立30周年	100,000
			予 備 費		120,853
合 計		910,853	合 計		910,853

平成19年度活動報告 19・4・1～20・3・31				平成20年度活動計画案 20・4・1～21・3・31			
* 4 / 1 (日)	「さくらフェスティバル」に参加			* 4 / 6 (日)	「さくらフェスティバル」に参加		
* 6 / 17 (日)	第30回定時総会			* 4 / 11 (金)	高尾山ハイキング (雨で中止)		
* 7 / 16 (月)	(海の日)納涼会(昭和記念公園)			* 6 / 15 (日)	第31回定時総会		
* 9 / 16 (日)	囲碁会(国立福祉会館)			* 7 / 21 (月)	(海の日)納涼会		
* 10 / 8 (月)	(体育の日)くにたちウオーキング			* 9 / 20 (土)	囲碁会		
* 10 / 14 (日)	14～15 一泊旅行(秩父路)			* 10 / 13 (月)	(体育の日)くにたちウオーキング		
* 10 / 28 (日)	ホームカミングデー(多摩キャンパス)			* 10 / 21 (火)	ボーリング大会		
* 11 / 4 (日)	「くにたち市民まつり」に参加			* 10 / 26 (日)	中大ホームカミングデー		
* 11 / 5 (日)	三多摩連協ゴルフコンペ			* 11 / 3 (月)	「くにたち市民まつり」に参加		
* 11 / 18 (日)	中央大学学術講演会(公民館)			* 11 / 5 (水)	一泊旅行(行先未定)		
* 11 / 18 (日)	秋のクリーン多摩川				〃		
* 11 / 20 (火)	ゴルフコンペ			* 11 / 16 (日)	中央大学学術講演会(谷保天満宮)		
* 1 / 26 (土)	新年会(雅月)				演題「司馬遼太郎と昭和の日本」		
* 2 / 24 (日)	囲碁会(国立福祉会館)			* 11 / 16 (日)	秋のクリーン多摩川		
* 3 / 16 (日)	春のクリーン多摩川			* 11 / 未定	ゴルフコンペ		
				* 1 / 24 (土)	新年会		
				* 3 / 15 (日)	春のクリーン多摩川		
9 / 15 (土)	白門会ニュース41号発行			9 / 15 (月)	白門会ニュース42号発行		